

東海連合支部 第8回歴史を訪ねる会＝光秀ゆかりの地を巡る

日 時 : 2020年11月22日
行 先 : 岐阜県瑞浪市土岐町(付近)
集合場所 : JR中央線 瑞浪駅<改札口>
歩行距離 : 約3.6km (全行動時間 約4時間)
標 高 : 八幡神社 170mH
参加者 : (あいうえお順) 宮下さん・池原さん・清水さん・阿部雅、4名の参加

今回の歴史を訪ねる会 11/22 は、JR 東海主催のイベントに便乗しつつ、歩行距離を減らして実施するものです。

コロナ感染症に起因して8か月中断・再開後3週目に当たる JR 東海主催のさわやかウォーキングで、常連さんと思しき方々が約130人、8:07 瑞浪駅(改札外)でコースマップを受け取りスタートして行きます。我々のグループは8:40時差スタートと決めていました。

- 1) 先ず、駅前から東方 1.2km、小里川が土岐川に合流する地点「光善光寺跡」へ向かう。元弘の変(1333年)に、足利尊氏と共に鎌倉幕府打倒に功を挙げた、土岐頼貞は土岐氏中興の祖と呼ばれ、以後11代続く美濃国守護としての基礎を築き、暦応2年(1339年)69歳で没している。頼貞の墓は、土岐氏の菩提寺であった光善寺跡にあり、道路によって東西に分かれた墓所にある19基の石塔群は、頼貞以前の累代や一族のものだと伝えられている。(墓所以外の寺跡は、全て住宅街・車道に変わってしまっている)



一日市場 八幡神社(土岐氏館)

- 2) 土岐川左岸沿いを南西に600m下ると、酒蔵開放一軒目の「若葉」創業1700年(元禄)頃～の入口に着く。……ここは毎年2月第三日曜に酒蔵開放(予約定員制・500円)を続けていたが、2021年は未定である。
- 3) 土岐橋への戻り路300m地点に、酒蔵開放二軒目の「中島醸造」創業1700年(元禄)頃～の立派な門がある。奥まった酒造場に大きな銀杏が黄葉しており、屋外で当直者2名が落ち葉清掃に努めている。



若葉醸造



中島醸造前にて



中島醸造



中島醸造イチョウの木の前で

4) 土岐橋を渡って、直ぐ北に向かい JR 中央本線の跨線橋を渡る (1km) と、八幡神社に至る。この場所は美濃源氏=土岐一族発祥の地と言われる。鎌倉幕府=源頼朝に仕え、美濃国を拠点とした土岐光衡はここに本拠「一日市場館 (やかた)」を建てて勢力を伸ばしていたとのこと。

明智光秀の出生地については諸説あって、ここにも光秀公顕彰の碑 (石像) が建てられている。この社を通り過ぎる遅出のイベント参加者も、ちらほら見られるなか、我々が500m程歩くと駅前へ戻れる。瑞浪駅に二番目に近い「ときわ食堂」に空席を得て、昼食をとる。13:17 無事に散会となる。

僅か 300m 間に二店並んだ「酒蔵の同日開放」を実現させるには、〔関係者〕酒蔵二店および JR 東海が、密集対策を根回してきたものと推察している。 (阿部雅記)